



だんだんとできることが見えてきました。 勇気をもって行動しよう。

生徒のみなさんへ



- 先週から給食や部活動が再開され、ついに今週、実に4か月ぶりとなる6時間授業が始まりました。そして、学校行事も行われてきていますので、だんだんとできることが見えてきました。皆さんがさまざまなことに挑戦できるように、先生たちは工夫を凝らします。皆さんも勇気をもって立ち上がり、行動してください。生徒の皆さん全員と先生たちとの新たな挑戦が始まります。3年生の皆さんがこれからの気持ちを作文にしていますので、一部紹介します。

「三年生になって」 3年1組 Tさん

今年は自分の未来のために、今までにないくらい自分と向き合い戦っていかなければならないと思っています。中学生になったばかりの頃は、受験なんて先の先だと思っていたけれど、四月に先輩たちの合格の知らせを聞いたり、何気なく名前を記入したりしている日常の中で、段々と自覚が芽生えてきました。

私はこの二年間があつという間でとうとう来てしまったのかという感じがします。今年一年間で今の私がどれくらい成長できるのかすごく楽しみだし、無理だと言われても挑戦したいです。夏は暑くて気が病んでしまうし、冬はすごく寒い、そんな中で勉強をコツコツと頑張れる集中力が今の私にはないから、もう戦いは始まっていると思って、普段の授業から集中していきたいなと思います。

本来は最後の夏の大会があるはずだけど、それがなくなった以上、もう一点集中で行きたいです。よく一日〇〇時間勉強とか言うけれど私にできる限りで頑張ってみたいです。先輩たちの姿を見てきてはいるものの、実際には自分が経験してみないと分からない事だらけです。今まで私はあまり真剣に勉強と向き合ってこなかったから、すごく後悔しています。だけど今からしっかり勉強したらなんとかなる、別に勉強をたくさんしたって死ぬわけじゃないし、精一杯の努力をして臨もうと思います。誰もが通った道、だけど自分にとっては未知の領域だから不安だけど、やるべきことをしようと思いました。そして、最上級生としての立場を理解し、手本となるような三年生になりたいです。

「高校の入学式」 3年2組 Iさん

『2021年、4月、今日から高校一年生だ。桜舞い散る暖かな日差しのもと、無事に入学式を迎えることができた。今の気持ちは、楽しみでワクワクしているのが半分、不安が半分という感じ。知らない人もたくさんいるけど、みんなと仲良くしたいなあと考えた。』 一年後、そんな風に思えるために、今がんばることは悔いなく物事をやり遂げることと、自分が満足いくまであきらめないことだ。今の目標は志望校に合格すること。そのためには自分が納得いくまで勉強して、あきらめないことが大切だと思う。だから、今後頑張ることは絶対あきらめないで前を見ること！！今の段階で行きたいところに必ず行けるわけではないし、不安も大きいけれど、悔いなく勉強してそれでもだめだったら仕方がないと思う。でも、なんとなく勉強して合格できなかったら、絶対後悔して一生悩む気がする。勉強だけではなくて全てのこと！！部活も悔いなく笑顔で終わることが目標だから全力でやりたい！！

「実感」 3年3組 Tさん

「実感がない。」 まず思ったのはそんなこと。進級の季節、例外無く感じるのだが、今年はいつにも増してだった。

二年生が終わる、と少し浮足立っていたとき唐突に長い休校へ突入した。いよいよ最上級生、受験生だと意気込んでいたのに氣勢をそがれたような、現実を突きつけられずすむと少し安心したような複雑な気分だった。しかし、休校中私は頑張らなかつた。時間はあるからと、どんどん無駄にしていたら、二か月過ぎてしまった。「氣勢をそがれた」なんておこがましいと思った。二年生の頃、「三年生になれば自覚も出て努力できるだろう」と考えていた。でもそんなはずがないと気づき、数秒愕然とした。ある日を境に自然と自覚が芽生えるわけがないのだ。自分で強い意志を持たないと変わらない。

学校が再開し、少しずつ日常が戻ってきて、自らのやらなければならないことの多さに戸惑った。あの、焦ることもないが

ずっと流れず停滞していた空気は何だったのだろう。もう私に休んでいる暇はない。

コロナによって貴重な一年が変化し、できるはずだったのにできなくなったことがたくさんあった。これからも油断はできない。しかし、この長い自粛によって私が想像している以上に私は、自分に甘いのだと気付けた。何となく「やらない」と思っているだけでは駄目だと。目標を口に出して周りの人に宣言できるぐらいの気概が必要なのだ。

「実感がない。」確かにそうだ。こうして原稿用紙に書いてきてもまだ不思議な気持ちを抱えている。でも無いなら無いなりに頑張ろう。幸い今の私には打ち込むべきものがたくさんあるのだから。覚悟を決めて宣言しよう。

「私は目標に向けて努力し続けます。」

どの文章からも、自分自身の弱さや不安としっかり向き合い、乗り越えようとする姿、打ち勝つ決意が伝わってきます。この「**一步を踏み出す勇氣**」は、今の皆さんにも、もってもらいたい力です。そして、お互いの変化を感じられるようなアンテナをもち、是非、友だち一人一人の**一步踏み出す姿**、勇氣ある変化・行動に対して、励まし合える、応援し合える、そんなクラス、学年、学校にしてほしいと願っています。

● 生徒総会へ向け始動 ～みんながより良く過ごせる熊西中学校をつくるために～

6月19日放課後、本年度初めてとなる代議専門委員会が行われました。7月8日の生徒総会に向け、急ピッチで生徒会執行部の皆さんが準備してくれました。休校や分散登校の影響で話し合いなど準備がままならない状況下での取組、本当に大変だったと思います。



それぞれの委員会において、昨年度の成果と課題を振り返り、本年度の方針や目標、具体的な活動計画・内容が示されました。



学級討議では、学校をより良くするためにはどうすればよいかということ、生徒一人一人が真剣に話し合う姿がありました。どの学級でも前向きに活発な討議が行われていたことが、提案事項のまとめから伺うことができます。クラスの中で堂々と自分の意見、考えを発言することができた人は、早速、勇氣をもって**一步を力強く踏み出せましたね**。



少し前の写真ですが、2・3年生が学年のスタートに当たって、学級のために目標などを話し合う様子です。それぞれの個性を皆が受け入れ、認め合いながら意見を出し合う姿は、その場において、すがすがしさを感じることができました。